

関係各位

平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

株式会社 Veritas In Silico 代表取締役社長の中村慎吾です。

このたび、当社が武田薬品工業株式会社と進めてまいりました共同創薬研究契約に基づく研究について、当社の研究推進方針や創薬展開に関する考え方が受け入れられなかったことから、当該契約に基づく研究を終了することとなりましたので、ご報告申し上げます。

本研究の終了は、特定の研究テーマにおける進め方や契約上の研究範囲に関する判断によるものであり、当社の技術基盤や研究遂行能力、事業継続性そのものに影響を及ぼす性質のものではないことをご理解いただきたく考えております。

当社は、社内研究や複数の製薬企業との共同研究を通じて、ターゲット探索やスクリーニングだけでなく、ヒット to リードやリード最適化の工程に関する技術・知見についても継続的に蓄積してまいりました。そのため、当社としては当該研究対象についても、これらの工程に関する技術・知見を利用した更なる展開の可能性があるものと考えておりましたが、今回は、今後の研究の進め方について当社の考え方が受け入れられなかったことから、このような結果となりました。なお、本研究を通じて得られた知見の今後の活用可能性については、引き続き協議・検討を進めてまいります。

なお、本件が現在進行中の他の共同創薬研究や、当社の技術提供体制・研究開発推進体制に与える影響は限定的であると考えております。当社といたしましては、今後も既存の研究開発活動を着実に進めるとともに、中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

株主や投資家の皆様にはご心配をおかけすることもあるかと存じますが、今後も適切な情報開示に努めてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この共同創薬研究の終了にともなう当社の業績に与える影響は限定的であり、2026年2月15日付でお知らせした2026年12月期の業績予想に変更は生じない見込みです。

2026年4月13日

株式会社 Veritas In Silico

代表取締役社長 中村慎吾